

**Beyond Limits. Unlock Our Potential.
To the Next Stage.**

**第 2 期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画
(既存拠点都市用)**

コンソーシアム等の名称 : Central Japan Startup Ecosystem Consortium

I. 全体ビジョン

1. スタートアップ・エコシステム拠点形成の目指す姿・KPI

(1) エコシステムの現在地と5年後の目指す姿

<ビジョン>

世界における最先端のものづくりイノベーションの中心地

ものづくり技術や生産ノウハウなどを世界のスタートアップの革新的な技術やビジネスモデルと融合させ、イノベーションをリードするグローバルな拠点に

<方向性> CENTRAL JAPANの世界的な競争力・求心力により日本と世界をつなぐネットワークハブに

<広域ネットワーク型>



※新たに岐阜県、三重県、静岡県が参画、
長野県、信州大学とは広域で連携

I. 全体ビジョン

<KPIと5年後の目標>

現状 産学官の連携体制を構築し、起業数や調達額の大幅な増加、成功事例の創出など、一定の成果を上げ、独自のエコシステムを構築

- ☑愛知・名古屋、浜松における産学官の連携体制の構築
- ☑起業数、調達額倍増、1,000億円以上SUの創出
- ☑海外ネットワークの構築、MOUの締結

5年度



グローバル、イノベーションを核とした高さの創出と、多数のEXIT・ユニコーン創出による成功経験を循環させ、総企業価値を増大し、**世界的な拠点**を目指す

- ☐ALL CENTRALによる体制強化、他拠点との広域連携
- ☐高さの創出と**多数のEXIT・ユニコーン創出**
- ☐海外展開と**海外スタートアップの呼び込み・集積**



目標	KPI	現状(※)	3年後	5年後
成功の経験を増やし、成長の原動力に	企業評価額1000億円以上のスタートアップ創出	1件	→	5件
	EXIT(IPO及びM&A)件数	18件	35件	50件
スタートアップの高さを向上	企業評価額100億円以上のスタートアップ創出	4件	10件	15件
	資金調達額	1,138億円	2,200億円	3,000億円
世界水準のスタートアップの集積	スタートアップの起業数	368社	750社	1,000社

※現状値は第1期(2020年度～)における実績

I. 全体ビジョン

(2)世界に発信できるセールスポイント

ものづくり産業の世界的な集積地であるCentral Japan の競争力で世界への道を拓く

<Central Japan の強み>

日本最大のグローバル企業群によるイノベーションの推進力と世界からの求心力

製造品出荷額等 1位(愛知県)、3位(静岡県)、
輸出額、貿易黒字額 1位

日本最大のグローバル企業群による
人材の集積

アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区
ロボット製造業事業所数1位(愛知県)

世界レベルの研究開発力(産業技術、
基礎研究)の集積

日本の都市特性評価2024(森記念財団)に
おける「研究・開発」分野 第1位(名古屋市)
官民における研究開発費 第2位(愛知県)

中部圏の競争力で世界への勝ち筋を創る

- ・グローバル企業との共創による世界展開
- ・世界最高水準の生産ノウハウによる世界品質の生産
- ・80兆円のGDPを誇る中部圏企業との取引による事業拡大や海外からの日本進出
- ・世界レベルのディープテックの集積による競争力

主な事例

- ・(株)SkyDriveが(株)スズキと空飛ぶクルマの製造に向けた協力について基本合意書を締結し、製造を開始
- ・エレファントック(株)が三井化学(株)名古屋工場内で生産開始
- ・日本特殊陶業(株)「水素の森」に全国のスタートアップが入居
- ・トヨタ自動車(株)と三菱UFJ銀行が、トヨタ本社でスタートアップ企業(65社)の技術展示会を開催

日本全国・世界中から多様なスタートアップが集まるネットワークハブに



Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

(1) 実績と目標

これまで、世界各国における連携先を開拓し、海外展開の支援や海外スタートアップとのマッチングを進めた。
今後は、①ネットワークの深化、②ボーングローバル、③海外スタートアップの呼び込み の3つの視点に重点的に取り組む。

現状	・世界各国の支援機関とのMOUを締結(10カ国26件) ・グローバルを見据えた起業家を輩出 ・海外スタートアップとのマッチングを実施	5年後 ➡	・海外連携機関とのニーズに応じた多様なプログラムの実施 ・グローバルを見据えた起業家をスタンダードに ・海外スタートアップとの協業実績を創出し、拠点開設へ
----	--	----------	---

目 標	KPI	現 状(※)	3年後	5年後
グローバルネットワークによる支援体制の構築	海外連携事業に参加する当地域及び海外のスタートアップ数	377	750	1,000
ボーングローバル・海外展開の促進	グローバルスタートアップを目指す起業家や学生の数	414	760	1,000
海外スタートアップの呼び込み	海外スタートアップの拠点開設件数	34	120	200
	海外スタートアップとのマッチング件数	648	1,450	2,000

※現状値は第1期(2020年度～)における実績

(2) 今後の取組

①世界各国との広域ネットワークを活かした多様なスタートアップ支援

中部圏の産学官が持つ独自のネットワークにより、世界各国の連携先との密な調整を図り、スタートアップのニーズに応じた効果的な取り組みを推進。

②ボーングローバル・海外展開の支援

世界各国との有機的なネットワークを生かし、グローバルマインドを持った人材の育成やグローバルを目指すスタートアップの創出を促進。さらに、各国の市場特性を踏まえた、スタートアップのニーズに応じた多様な海外展開支援を実施。

③海外スタートアップの呼び込み

世界的なものづくり産業の集積地である世界的な求心力やグローバルイベント「TechGALA」の開催による世界からの呼び込み、当地域のグローバル企業によるオープンイノベーション・投資等により、海外スタートアップを誘引、「STATION Ai」等への拠点開設を促進。

Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

①世界各国との広域ネットワークを活かした多様なスタートアップ支援

海外の様々な支援機関などとの連携や海外拠点の設置により、有機的な体制支援を構築してきた。

今後、このネットワークを活かし、**スタートアップの分野やニーズに合った多様な海外展開支援、海外スタートアップの目的に応じた連携事業**を実施、成果につなげる取り組みを進める。

<連携先>

国 名	大学・機関名	種別				概要・特徴
		政府・自治体	公団体等	大学等	民間企業	
(1)アメリカ	テキサス大学オースティン校			○		先進的な地域・機関との連携を通して、ノウハウを吸収
	テキサス州	○				
	ケンタッキー州	○				
	カリフォルニア大学バークレー校/バークレー・スカイデック			○	○	
	ノースカロライナ州立大学			○		
(2)シンガポール	シンガポール国立大学			○		<プログラムの例 2024年度> ・A2(Aichi-Austin)Innovation Kick-start Program(アメリカ) ・Aichi Smart Sustainable City Co-Creation Challenge(シンガポール) ・INSEADイノベーションプログラム(フランス) ・Aichi-China Innovation Program(中国) ・SNC Business Collaboration Program(イスラエル)
(3)フランス	STATION F				○	
	INSEAD			○		
	パリ市	○				
	Paris&Co		○			
	IMT Atlantique			○		
	Bpifrance		○			
(4)中国	オーベルニュ・ローヌ・アルプ地域圏	○				
	清華大学/Tusホールディングス			○	○	
	上海交通大学			○		
(5)イスラエル	浙江大学			○		
	イスラエルイノベーション庁(IIA)	○				
(6)インド	Startup Nation Central(SNC)		○			
	インド工科大学ハイデラバード校			○		
(7)ドイツ	ネクストバーラトベンチャーズ				○	
	NRW州	○				当地域と似た産業構成を持つ欧州地域の一つで、製造やGX分野を中心に連携
(8)韓国	慶尚南道	○				当地域と似た産業構成を持つアジア地域の一つで、航空宇宙分野を中心に連携
(9)ポルトガル	経済省	○				ラテンアメリカへのハブとなり、GXやITに関するスタートアップに注力する地域の一つ、GX等を中心に連携
	Startup Portugal		○			
(10)スペイン	マドリード州	○				ラテンアメリカへのハブとなり、世界トップクラスの長寿地域で、ヘルスケア等を中心に連携

Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

<海外連携先との具体的な取り組み>

MOU締結先やコンソーシアムの海外拠点との連携により、単発のプログラムではなく、継続的なフォローを行い、KPI達成につなげる。

人材育成

NUS Enterpriseサマープログラム

シンガポール国立大学

シンガポール国立大主催アントレプレナーシップ養成プログラムへ大学生を派遣

シンガポール国立大学連携事業

シンガポール国立大学

名古屋大学グローバルキャンパス

シンガポール国立大学との起業家教育プログラム等への相互派遣

ノースカロライナ州立大学連携事業

ノースカロライナ州立大学

名古屋大学グローバルキャンパス

ノースカロライナ州立大学等とのオープンイノベーションイベントへの教員、起業家派遣

浙江大学・上海交通大学連携事業

浙江大学・上海交通大学

浙江大学、上海交通大学の学生と交流しながら、アントレプレナー教育のセミナー、社会課題の解決に向けたアイデアソンを実施、優秀チームは中国へ派遣

起業家創出・育成

A2(Aichi-Austin) Innovation Kick-start Program

テキサス大学オースティン校

スタートアップの北米展開ハンズオン支援や、起業家をテキサス州へ派遣して現地メンターによるメンタリング・現地ネットワークの構築等を支援するプログラムを実施

「バークレー・スカイデック」アクセラレーションプログラム

カリフォルニア大学バークレー校

「バークレー・スカイデック」と連携し、海外展開を支援するアクセラレーションプログラムを実施

Aichi-China Innovation Program

清華大学

中国展開に向けたハンズオン支援、現地でのマッチングイベントを実施

<社内起業家の育成>

INSEAD イノベーションプログラム

INSEAD

世界トップクラスのMBAスクールであるINSEADによる愛知県の企業向けのカスタマイズプログラム

展示会出展

世界各国における代表的なスタートアップ、テクノロジーの展示会等へのスタートアップの出展を支援する。

事前のハンズオン支援や関連イベントの実施、継続的なアフターフォローを実施することで、その後の成果につなげる。

VivaTech

フランス

SWITCH

シンガポール

SXSW

アメリカ(テキサス州)

S-Tron

中国

South Summit

スペイン

海外スタートアップの呼び込み

シンガポール国立大学連携事業

シンガポール国立大学

社会課題解決を目的とした愛知県内企業と国内外のスタートアップとの協業プログラムを実施

Aichi-Israelマッチングプログラム

イスラエルイノベーション庁(IIA)
Start-Up Nation Central(SNC)

愛知県内企業とイスラエルスタートアップとのオープンイノベーションを通じた新規事業開発、企業の課題解決を図る

Aichi-China Innovation Program

清華大学

日本進出を目指す中国スタートアップと愛知県内企業のマッチングプログラム

インドスタートアップ関連事業

インド工科大学ハイデラバード校
Next Bharat Ventures

浜松市の産業と親和性のあるインドスタートアップを、招へいし、市内交流イベントや産業視察等を実施

海外ミッション団の受け入れ

ドイツNRW州・韓国慶尚南道

海外(ドイツ・韓国等)の支援機関等と連携し、当地域に関心のあるスタートアップ等のミッション団の受入を実施する。

連携先のネットワークによる
海外VCからの投資

グローバルを目指す人材・起業家の増加

資金調達、海外販路の開拓による事業拡大

海外スタートアップの進出促進

海外連携事業に参加する当地域及び海外のスタートアップ数 1,000社

グローバルスタートアップを目指す起業家や学生の数 1,000人

資金調達額 3,000億円、企業評価額100億円以上のスタートアップ創出 15件

企業評価額1,000億円以上のスタートアップ創出 5社、EXIT(IPO及びM&A)件数 50件

海外スタートアップとのマッチング件数 2,000件

海外スタートアップの拠点開設件数 200件

KPI

Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

②ボーングローバル・海外展開の支援

海外を見据えたアクセラレーションプログラムや海外展開支援を実施、海外を目指すスタートアップが創出されるようになった。今後は、その基盤となるグローバル人材の育成から、スタートアップのグローバルチーム作りや海外ファンドからの投資、スタートアップの目的やニーズに沿った多様な海外展開支援を実施し、グローバルがスタンダードとなるような環境を構築する。

グローバル人材の育成

アントレプレナーシップ教育と早い段階での海外派遣を組み合わせることでマインドを醸成

大学生

海外の先進大学との連携によるスタートアップ先進都市への派遣

- ・テキサス大学オースティン校(アメリカ)
- ・ノースカロライナ州立大学(アメリカ)
- ・シンガポール国立大学(シンガポール)
- ・上海交通大学／浙江大学(中国) 等

高校生

ディープテックスタートアップ人材を育成するため名古屋市と名古屋大学が連携し、宇宙産業の本場アメリカへ高校生を派遣



グローバルスタートアップ創出

当地域産業とつながりが深いシリコンバレーと連携し、グローバルを目指すスタートアップを創出

GLOW TECH NAGOYA

シリコンバレーで活躍する講師陣から、グローバルな事業展開に必要な起業家マインドやビジネス戦略を習得

バークレー・スカイデック

カリフォルニア大学バークレー校のアクセラレーター「バークレー・スカイデック」と連携し、海外展開を支援するアクセラレーションプログラムを実施

組織のグローバル化

スタートアップと留学生との交流

留学生の起業、スタートアップへの就職・インターンを進めグローバルなチームづくりを促進

海外からのインターンの受け入れ

シンガポール国立大学の学生を当地域のスタートアップに受け入れ、グローバルな関係性を構築

海外VCからの投資

- ・Central Japan Innovative Research Fund I による海外ファンドとの連携
- ・インドVC(スズキCVC)と浜松市が覚書を締結

海外展開の支援

当地域のスタートアップと相性の良い北米、ヨーロッパ、アジア等の主要展示会へ出展・参加

<2024年度の主な派遣先>

- ・IMTS(アメリカ シカゴ)
- ・VivaTech(フランス)
- ・SWITCH(シンガポール)
- ・SXSW(アメリカ オースティン)
- ・中国国際輸入博覧会(中国)

※一部はスタートアップ・エコシステム拠点都市強化プログラムと連携

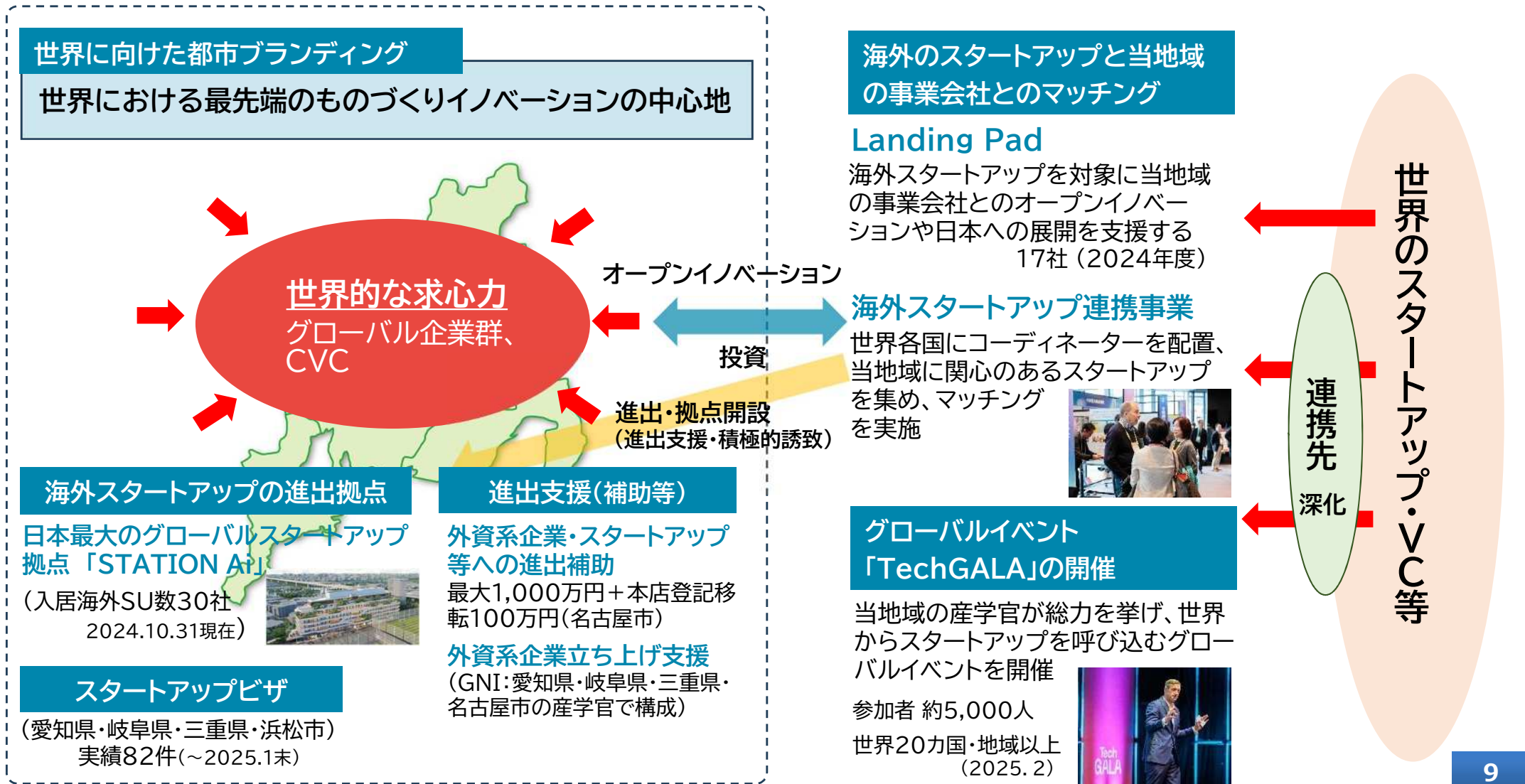


Ⅱ. 世界とシームレスに繋がる

③海外スタートアップの呼び込み

海外スタートアップと当地域の事業会社とのマッチングを数多く実施、当地域への進出事例も創出。

今後は、海外のエコシステムと連携し、マッチングの精度を高め具体的な成果につなげる。併せて、都市ブランディングの発信やグローバルイベント「TechGALA」の開催により世界からの求心力を高め、「STATION Ai」等への拠点開設へつなげる。



Ⅲ. スタートアップの成長を支援する

(1) オープンイノベーションの促進

(ア) 実績と目標

様々なプログラムを通じた事業会社のオープンイノベーションの機運を醸成、CVCの設置や共創拠点の開設も進んできた。
グローバル企業やCVCの取り組みと連携し、スタートアップと事業会社との共創を促進し、スタートアップの成長と地域産業のイノベーションを創出。

KPI	現 状(2020年度～)	3年後	5年後
オープンイノベーションによる事業開発件数	970	1,900	2,500

(イ) 今後の取組

スタートアップと事業会社の共創促進

全国のスタートアップと当地域の事業会社とのマッチングや伴走支援を実施。

- ・共創促進事業「CIRCLE」
- ・浜松地域スタートアップ連携促進事業「ハマハブ」

ピッチイベントや、リバーСПitchの開催

定期的なピッチイベントや、リバーСПitchを開催

- ・共創イベント「CROSS」
- ・STATION Ai PITCH & MEETUP

「MEET UP CHUBU」
共同研究や新事業展開に向けたプラットフォーム



事業会社のオープンイノベーションの方針、取り組みとの連携

事業会社のオープンイノベーション拠点の開設

日本ガイシ(株)
「NGK Collaboration
Square DIVERS」
(2025.7オープン予定)



日本特殊陶業(株)
「水素の森」



三井化学(株)「クリエイティ
ブインテグレーションラボ®」



中部ニュービジネス協議会
中部地区の企業が集まり、
ニュービジネスの育成と振興を目指す

中部CVC連絡会
中部地区を中心とした事業会社・CVC担当者向け勉強会
242社(2025.1末現在)

オープンイノベーション拠点等における機運醸成、事業創出(イノベーションの基盤づくり)

ナゴヤイノベーターズガレージ

交流から共創を生む
イノベーションハブ



STATION Ai

日本最大規模の
オープンイノベーション拠点



なごのキャンパス

ひらく、まぜる、うまれる、
次の100年を創る
インキュベーション施設



TOIC NAGOYA/GIFU

大学における産学
交流、起業活動、共同研究の支援拠点



Ⅲ. スタートアップの成長を支援する

(2) 公共調達、社会課題解決を通じた社会実装の促進

(ア) 実績と目標

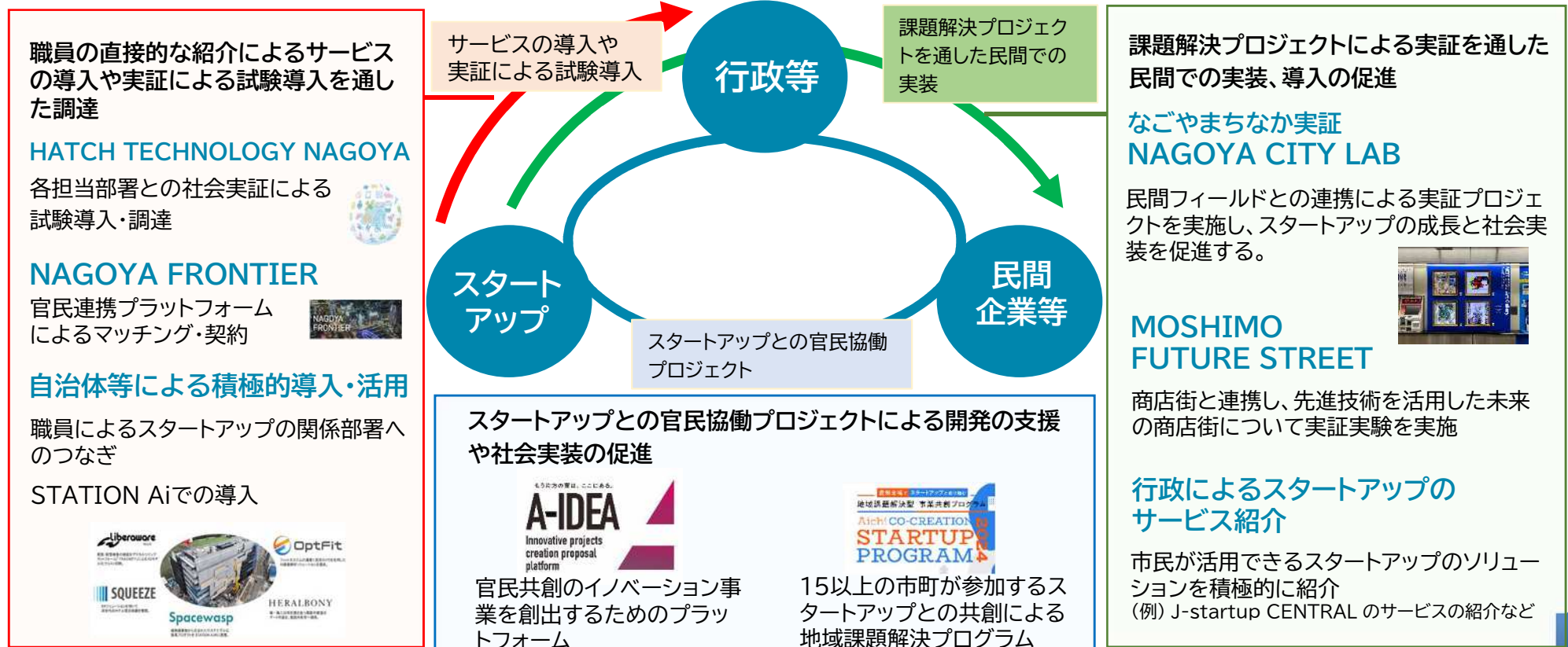
社会実証支援によるスタートアップのサービスの試験導入と調達を促進。

今後は、コンソーシアムに関わる行政、大学、民間が直接的に積極的な導入を図るとともに、行政に加え、**官民協働プロジェクトの組成やプロジェクトを通じた民間への導入など多種多様な方法による調達、社会実装**を推進。

KPI	現 状	3年後	5年後
公共調達及び社会実証プロジェクトの実施件数(2020年度～累計)	113件	220件	300件
創業10年未満の中小企業者との契約額(/年)	66億円	86億円	100億円

(イ) 今後の取組

民間との連携による**様々な形で行政・民間への導入を促進**し、スタートアップの多様なサービス・技術の導入に対応



Ⅲ. スタートアップの成長を支援する

公共調達取り組みの中部圏全域への広域化

愛知・名古屋、浜松が全国に先駆けて実施してきた
実証・調達の取り組みが近隣自治体へ波及。
今後さらに中部圏全域への取り組みの拡大を図る。

Urban Innovation JAPAN (HATCH TECHNOLOGY NAGOYA)

日本最大の実証プラットフォームUrban
Innovation JAPANの取り組みが、名古屋市
(HATCH TECHNOLOGY NAGOYAと連携)から中部圏
全域へ拡大、現在、実施自治体は中部エリアが
全国で最多。

<実施中及び過去実施自治体>

愛知県、名古屋市、豊橋市、春日井市、岡崎市、小牧市、
安城市、長久手市、大垣市、藤枝市

三重県の取り組み

スタートアップ支援補助金
実証実験のサポート
オープンフィールド戦略策定(桑名市)

- Urban Innovation JAPANを実施中、
実施したことのある自治体
- 浜松市実証実験サポート事業参加自治体
(2024年度)
- AICHI CO-CREATION STARTUP
PROGRAM 参加自治体(2024年度)

岐阜県の取り組み

新事業分野開拓
事業者認定事業

AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM

愛知県内自治体とスタートアップとの共創
による地域課題解決プログラム

<参加自治体(2024年度)>

稲沢市、大府市、岡崎市、春日井市、蒲郡市、北
名古屋市、刈谷市、小牧市、新城市、豊明市、豊
川市、豊橋市、西尾市、日進市、東浦町、田原市、
設楽町、東栄町、豊根村

▶ 中部圏自治体へとネットワークの広域化

中部圏全域に広げていくための取り組み

- ピッチイベントへの中部圏自治体の参加
や中部圏自治体向けピッチイベントの開催
(MEET UP CHUBU など)
- AICHI CO-CREATION STARTUP
PROGRAMのネットワークを広域化し、
中部圏自治体の情報共有・共創を促進
- 自治体をまたいだ広域での取り組みの共有
(NAGOYA CONNECTなど)



NAGOYA CONNECTでの
浜松市実証実験サポート事業
参加自治体セッション

ハマハブ！

行政と企業の課題を解決

「浜松市×スタートアップ」や「地域企業×スタートアップ」
のマッチングプラットフォーム
公共調達及び民間調達に繋がる補助金支援の実施

浜松市実証実験サポート事業

自治体とスタートアップに
よる実証実験支援(補助金
支援あり)

湖西市、袋井市へ広域化

浜松市トライアル発注認定事業
4号随契による優先調達制度

静岡県の取り組み

実証実験サポート
公共調達モデル創出
2025年度新規事業
として県全域へ拡大

Ⅲ. スタートアップの成長を支援する

(3) J-startupとの連携

スタートアップの成長を支援し、高さを生み出すため、J-Startup及びJ-Startup Central への地域を挙げた集中支援を実施。世界への積極的な情報発信によりブランド力を高める。

コンソーシアムの広域化を契機に、J-Startup CENTRAL の対象エリアを拡大。

J-Startup CENTRAL

中部経済産業局と連携し、コンソーシアムが事務局となることで地域を挙げた効果的な支援を実施。

今後、愛知県・名古屋市、浜松市に加え、新たに岐阜県、三重県、静岡県全域を対象に追加、各自治体と連携した支援を実施。



J-Startup 8社 J-Startup CENTRAL 44社
(2025.3.4現在)

J-Startup CENTRAL へのサポート

- 事業拡大に向けたJ-Startup、J-Startup CENTRAL専用の支援補助金（上限500万円）
- 大企業や投資家等とのマッチング支援
- J-Startup全国版との支援策の連携
- サポーター企業（60社2025.2末現在）による注力サポート
- ウェブサイト、雑誌、新聞記事への掲載によるPR支援
- 行政、支援機関による共創支援、実証サポートなど

Ⅲ. スタートアップの成長を支援する

(4) ベンチャーファイナンスの仕組みの構築

産学官金が連携し、中部発ファンドの創設によるリスクマネーの増大や投資の呼び込み、ファンドや投資の活発化を図ることで、スタートアップの資金調達環境を強化する。

中部発ファンドの創設

当地域のスタートアップの芽を見つけ、育てるために産学官金が連携し、シード、アーリー期を中心としたファンドを設立。大学等のディープテックを対象としたファンドを新たに設立。

自治体も積極的にLP出資を行うことで、ファンドサイズの拡大、資金の呼び込みに寄与。

○ Central Japan Innovative Research Fund I **新設**
50～100億円※

○ STATION Ai Central Japan 1号ファンド
約15億円※

○ Central Japan Seed Fund
約15億円

※愛知県・名古屋市もLP出資

Central Japan Innovative Research Fund I



ファンドや投資が生み出される環境の構築

○ファンドサポート事業

ベンチャーキャピタル等と協調し資金を交付することで、スタートアップの事業化を支援、デッドにも対象拡大(浜松市、静岡県)

36社(呼び込んだ投資合計額207.77億円※2024.3末現在)

○キャピタリスト育成 **新規**

VC、大学が連携し、中部地域におけるキャピタリストを育成するプログラムを実施

○中部CVC連絡会

中部地区CVCの量と質の拡大を目的に、事業会社・CVC担当者向け勉強会を定期的実施(242社※2025.1末現在)

金融機関との連携による支援

○中部STARTUP RUNWAY

VCや金融機関、自治体、大学などのサポーターが集まり、スタートアップの事業成長を支援

○地域金融機関の機運の醸成

地域金融機関のスタートアップ支援の機運を図るため、東海財務局と連携し、金融機関向けセミナーを開催

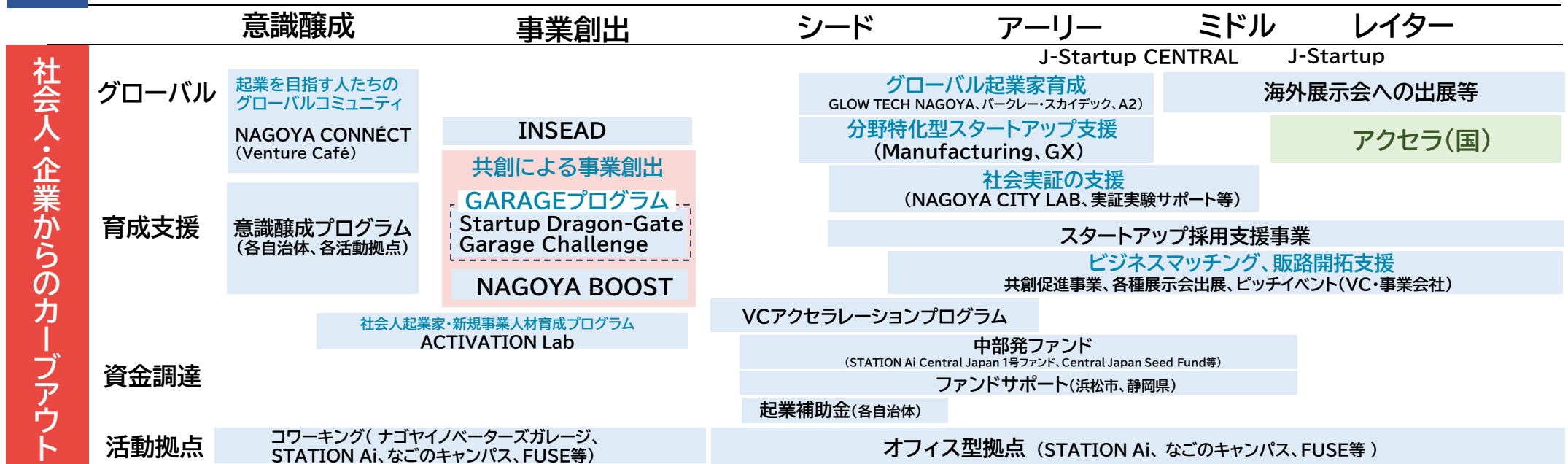
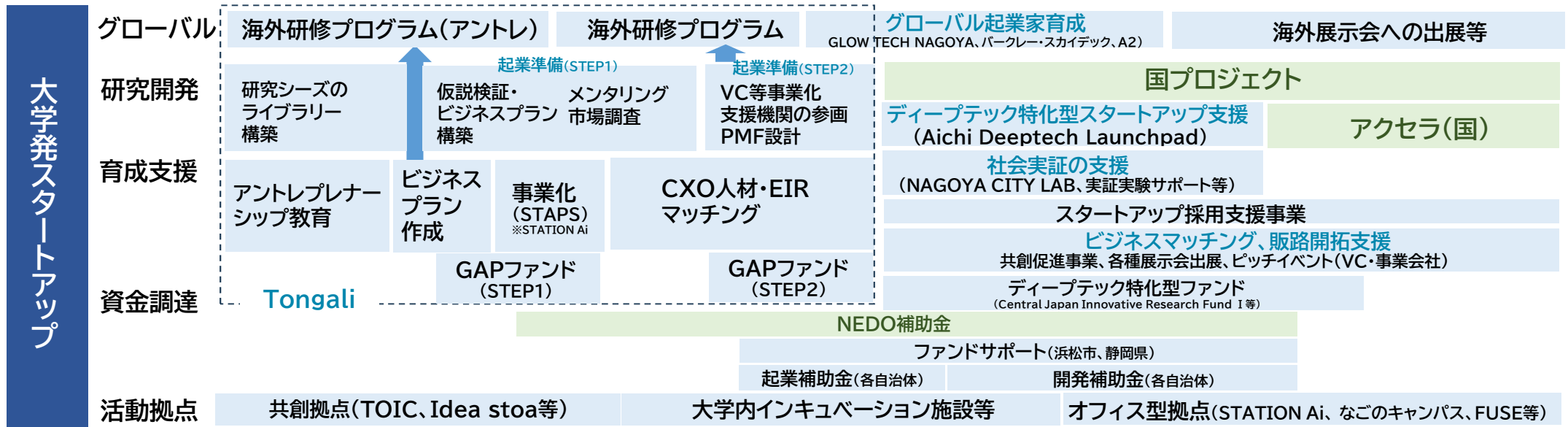
○金融機関との人事交流

行政や大学と金融機関との間でスタートアップ支援について連携を深めるため、人事交流を実施

Ⅲ. スタートアップの成長を支援する

(5) スタートアップの起源に応じた支援の流れ

大学の高度な研究シーズの発掘や、ディープテックに特化したアクセラレーション、ファンドにより社会実装へ



多様な企業人材による共創により、新たなビジネスを創出、分野やニーズに応じた支援を通して事業成長へ

Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

1. アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成

(1) アントレプレナーシップ教育等に関する実績と目標

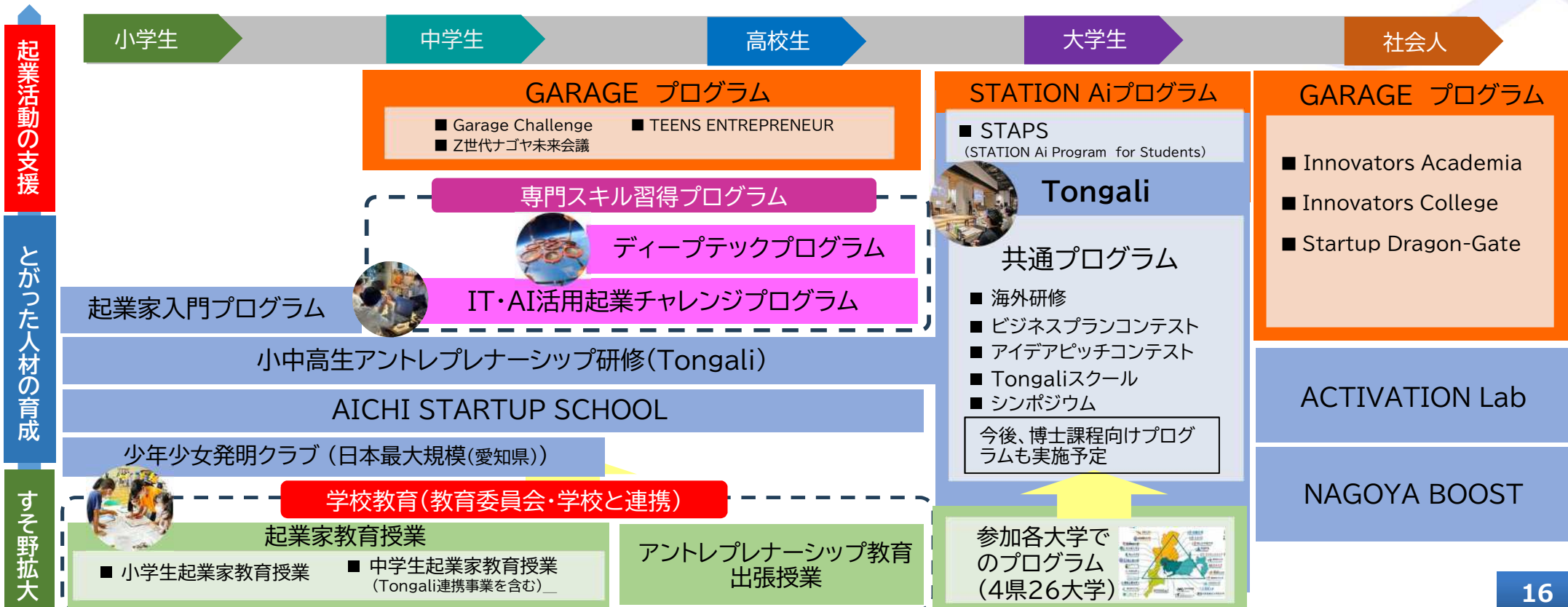
小学生から大学生、社会人まで成長段階に応じた人材育成を実施し、起業に向けた活動や起業実績も増大。

今後は、教育委員会との連携による授業での教育を本格的に実施するとともに、産学官が連携し、育成から起業活動まで一貫した支援を実施。また、新たに大学発スタートアップを担う博士課程大学院生を育成。

KPI	現 状(2020年度～)	3年後	5年後
起業を志す人材・イノベーション人材の輩出	44,819人	90,000人	120,000人

(2) アントレプレナーシップ教育等に関する今後の取組

産学官・教育委員会が連携し、小学生から大学生、起業支援まで、段階に応じた出口までの支援を実施
グローバル企業等の社員に対するアントレ・イントレ双方からの教育を行い、グローバル起業家を育成



IV. エコシステム形成の土台を作る

日本最高の大学アントレプレナーシップ教育プラットフォーム「Tongali」



Tongali

東海地域の大学・研究機関が実施するアントレプレナーシップ教育と起業支援活動のためのプラットフォームとして、小中高生から、大学生、博士課程の大学院生まで切れ目のないアントレプレナーシップ教育を実施

信州大学が所属する
Inland Japan
Innovation
Ecosystem(IJIE)
とも連携中



小中高生を対象に、
EDGE-PRIMEアントレプレナーシップ教育を、
25プログラム/年実施。

博士課程大学院生を対象に、ディープテックを活用したスタートアップ起業に向けた海外アクセラ研修の実施。

学生はだれでも参加が可能。
講義＋共通プログラムに8,000人以上/年が参加



Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

2. エコシステムを支える人材・組織の確保

(1) エコシステムを支える人材・組織の確保に関する実績と目標

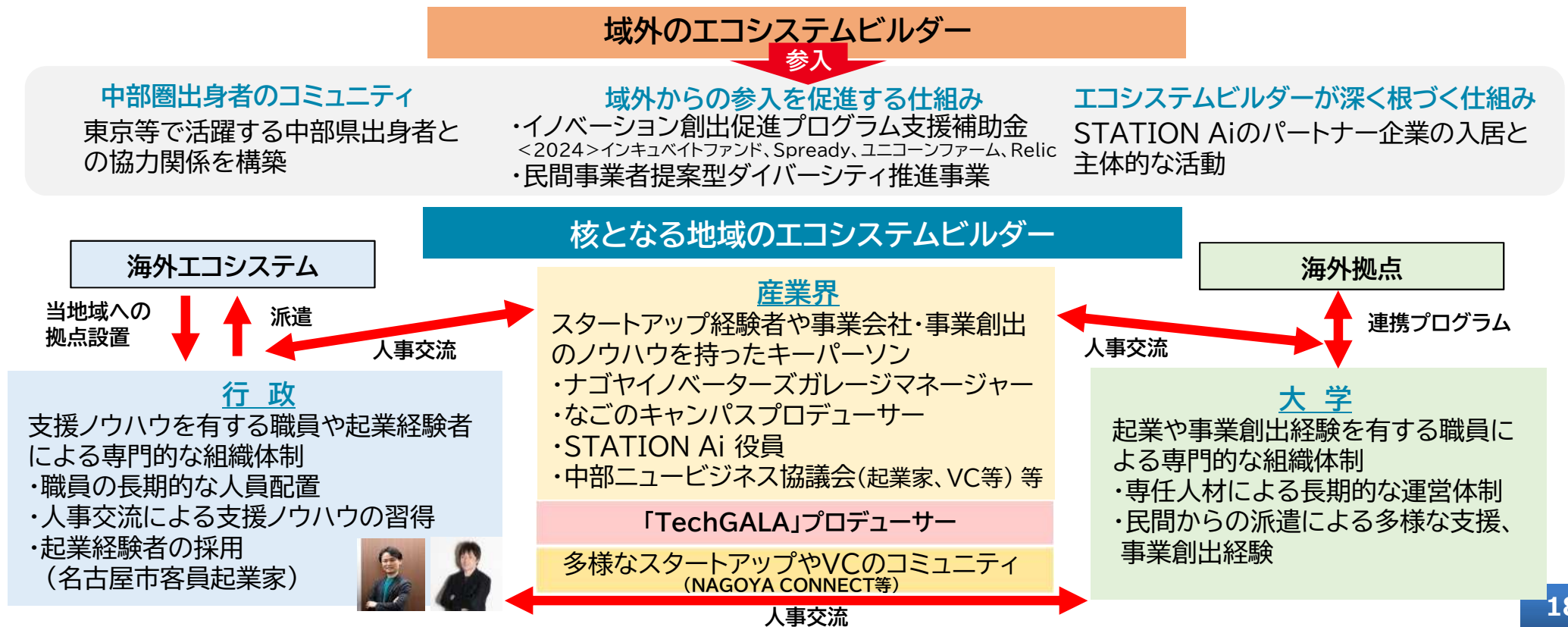
愛知・名古屋、浜松を中心に産学官による強固なエコシステムを構築、多様なエコシステムビルダーが生まれ、連携し活動。

今後は、新たに岐阜県、三重県、静岡県を加え、中部地域全域へエコシステムを拡大する。また、域外の様々なエコシステムビルダーの活動を中部圏へ誘引し、多様かつ高度な支援体制を構築

KPI	現 状	3年後	5年後
自治体担当部署の人員体制	77人	98人	98人
コンソーシアム構成員数	327	387	427

(2) エコシステムを支える人材・組織の確保に向けた今後の取組内容

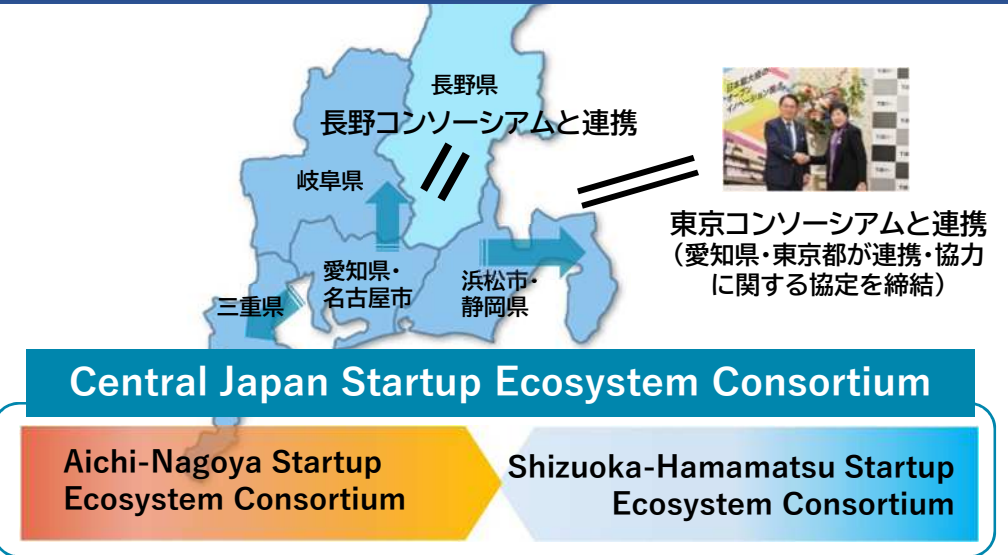
全国からエコシステムビルダーが参入し、核になる地域の「顔」とともに強固な支援ネットワークを構築



IV. エコシステム形成の土台を作る

ALL CENTRAL から世界へ

- ・新たに岐阜県、三重県、静岡県が参画、長野県・信州大学と連携、コンソーシアムの広域化によるALL CENTRALによる体制の強化
- ・愛知・名古屋、浜松間の一体的な取り組みを進めるため、上位組織として「Central Japan Startup Ecosystem Consortium」を設置
(会長：中部経済連合会会長：水野明久)
- ・他地域との広域連携（愛知県・東京都は連携・協力に関する協定を締結）、海外連携ネットワークの深化



Our Leaders



行政						大学	産業界			投資家	起業家	ナゴヤイノベーションズ ガレッジ事務局長	なごのキャンパス プロデューサー	STATION Ai	TechGALA プロデューサー
三重県知事	岐阜県知事	静岡県知事	浜松市長	名古屋市長	愛知県知事	国立大学法人 東海国立大学機構 機構長	一般社団法人 中部経済連合会 会長	名古屋商工 会議所 会頭	中部ニュービジ 協議会 会長	株式会社 MITGA「ナゴヤ」 代表取締役	株式会社 ミナゴト 代表取締役	一般社団法人 中部圏イノベーション 推進機構 事務局長	株式会社LEO 代表取締役	STATION Ai 株式会社 代表取締役兼CEO	株式会社 ウズグループ 代表取締役
一見 勝之	江崎 禎英	鈴木 康友	中野 祐介	広沢 一郎	大村 秀章	松尾 清一	水野 明久	嶋尾 正	永井 淳	藤田 豪	牧野 隆広	田中 裕章	栗生 万琴	佐橋 宏隆	奥田 浩美

＜拠点都市構成自治体における予算額、担当部署人員体制の推移等＞

	愛知県		名古屋市		浜松市		岐阜県		三重県		静岡県	
	予算額 (百万円)	人員体制 (人)	予算額 (百万円)	人員体制 (人)	予算額 (百万円)	人員体制 (人)	予算額 (百万円)	人員体制 (人)	予算額 (百万円)	人員体制 (人)	予算額 (百万円)	人員体制 (人)
2020	2,708	21	604	15	750	5						
2021	2,840	28	763	20	614	11						
2022	4,928	32	1,294	20	456	13						
2023	8,348	39	1,733	22	474	11						
2024	14,049	43	2,765	22	454	12						
2025	3,236	43	2,933	25	456	11	171	4	58	4	680	11

Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

リーダーの方針



中部経済連合会会長
水野 明久

中部圏は、日本を代表する製造業の集積地であり、グローバル市場においても確固たる地位を築いております。しながら、世界に誇る当地の自動車産業や工作機械産業なども、その端緒は挑戦と革新に満ちた創業の精神にありました。この地には、ものづくりを通じた革新の文化が根付いており、新たな価値を創造する土壌が培われています。

中部圏では産官学が一体となり、スタートアップ・エコシステムの構築に注力しております。スタートアップ企業と既存企業、大学や研究機関などが連携し、人材を育成、オープンイノベーションを推進することが、中部圏の産業のさらなるを促し、持続可能な成長を実現する原動力になると確信しております。



愛知県知事
大村 秀章

中部地域の主力である自動車産業はCASE、MaaSへの対応などに加え、AI、5Gなどのデジタル技術の加速度的な進展の中で、歴史的な大転換の真っ只中にあると考えております。

こうした中、引き続き、この地域が競争力を維持・強化していくためには、革新的ビジネスモデルや最先端技術を持つスタートアップを起爆剤としたイノベーションの創出が不可欠です。

当地域では、昨年10月にグランドオープンした日本最大級のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」を中心に、スタートアップの創出・育成・展開を図るとともに、国内外から優れたスタートアップや優秀な人材をこの地域に呼び込み、地域のモノづくり企業との連携・融合を図りながら、世界に類例のない国際的なイノベーションの創出の拠点形成を目指してまいります。



名古屋市長
広沢 一郎

中部圏は自動車産業をはじめとする世界有数のものづくり産業が集積しており、名古屋市はその中枢都市として発展を遂げてきました。今後も当地域が持続的に発展していくためには、産業の垣根にとらわれないイノベーションの創出が重要であり、そのために、スタートアップの創出・育成は必須と考えております。

名古屋市では、総合計画において、イノベーションの担い手となる人材育成や、オープンイノベーションの促進、グローバル化支援を掲げており、コンソーシアム一体となって推進していきます。

中部圏の産学官が強固に連携することで、日本経済をけん引するスタートアップが創出される、世界でも唯一無二のエコシステムの形成を目指していきます。



浜松市長
中野 祐介

浜松市は、輸送用機器や楽器など、グローバルに活躍する企業が創業した、ものづくりのまちであり、まずはやってみようといった「やらまいか精神」に溢れるスタートアップのまちとして発展を遂げてまいりました。

本市の地域経済の発展を持続させるためには、斬新な技術やアイデアを持つスタートアップの力は重要であり、そうしたスタートアップが生まれ・集まり・育つエコシステムの構築や強化が肝要であると考えています。そのためにも、グローバルに活躍するスタートアップの創出・育成を目指すプログラム、スタートアップと地域の企業・大学や研究機関等とのオープンイノベーション、世界で活躍する次世代人材の育成など、様々な支援に取り組んでまいります。

中部圏における広域なネットワーク「Central Japan Startup Ecosystem Consortium」により、世界に通用するイノベーション拠点へと発展することを目指してまいります。